No.375　2025. 11. 12

目黒 unesco
目黒ユネスコ ショートニュース
MEGURO UNESCO ASSOCIATION　http://www.unesco.or.jp/meguro/
United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
NPO法人目黒ユネスコ協会

2025年度 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 埼玉、
次代につなげよう平和の心　ー戦後80年　今できることはー

日時：2025年9月27日（土）
会場：深谷市民文化会館（小ホール）
主催：埼玉県ユネスコ連絡協議会、
関ブロ・ユネスコ連絡会協議会、日本ユネスコ協会連盟
主管：深谷地方ユネスコ協会・　寄居地方ユネスコ協会
目黒ユ協会：齊藤・大前・久富・谷澤〈4名参加〉

今年度は近代日本経済を築いた渋沢栄一氏の誕生の地　深谷市で開催された。オープニングは、「血洗島獅子舞」 約450年の歴史を持つ伝統芸能で、渋沢翁も子供の頃、雄獅子を舞っていたと伝えられている。基調講演では、実業家としてだけでなく、 国際親善にも大きな功績を残している、渋沢栄一氏が生涯を貫いた精神を基本理念に据えた教育、「立志と忠恕の深谷教育プラン」（注）が現在も　継続していると、講師小柳光春前教育長が語っていた。
事例発表は、①「栄一翁を学び、栄一翁の心を受け継ぐ」（深谷地方ユ協　関口良子）②持続可能な「諸外国交換ユネスコ児童・生徒作品展」（太田ユ協　中村利光　岩崎房子）。
今回は、例年と異なり、分科会はなく、開会式の会場で全てを終らせた。なお、次年度は群馬県沼田市で10月24日開催とのことである。　　理事　久富美智子

注：立志と忠恕〈ちゅうじょ〉とは、自分の良心に忠実であり、他人に対して思いやりを持つこと

自主語学講座／ドイツ語（初中級）

会場：緑が丘文化会館
講師：イザベル・ゴイ氏　　世話人：菱田秀子

ゴイ先生はとても明るく優しい雰囲気で、取材に訪れた際にも笑顔で“ウエルカム”と温かく迎えてくれました。以前ドイツに住んでいた、妹が今も住んでいるなど、生徒の方はドイツに何らかのご縁のある方が多いものの、中には合唱（ドイツ語の歌詞を理解したい）を通じて、語学の勉強が趣味、など様々なきっかけで始められたとのことです。
授業は small talk から始まり、毎週変わる先生からの質問に一人一人が答えながら会話力を鍛えます。講義は全てドイツ語です。この日は、受講希望の見学の方から受託クラススタート時の2017 年から参加している方々までいらっしゃいましたが、皆さん真剣なまなざしで先生の話を聞いている姿がとても印象的でした。　　広報　遠藤裕子

目次：関ブロ研・ドイツ語教室／1P、MIFA・交流サロン／2P、交流サロン・日本語教室 3P、お知らせ／4

『めぐろ国際交流ボランティア講座』に参加！

日時：2025.9.23（火・祝）10:00～12:00
場所：目黒区総合庁舎別館 5 階 MIFA 交流スペース

秋分の日、目黒区国際交流協会（MIFA）主催のボランティア講座が開催された。参加は、国際交流ボランティア検討中受講者 29 名と6団体・Science Tokyo 家族のための日本語教室・MIFA・目黒ユネスコ協会・にほんごの会くれよん・多言語絵本の会 RAINBOW・ICN 駒場日本語教室の計 41 名だった。
まずは、MIFA 職員から、受講者対象に、ボランティア四大原則（自らの意志で行う、共に支え合い学び合う、見返りを求めない、より良い社会を作る）などの話があった。
続いて、各団体代表から所属団体紹介と活動形態や日本語ボランティアをしての感想が発表された。学習方法は会話形式やクラス形式など様々で、日本語学習者の目的（留学なのか、仕事なのか、定住なのか）に合わせた対応をし、また、状況により学習者の話す言語もまじえたり工夫を凝らしているのが見てとれた。
「日本へ来て良かった！と思ってもらえたら…」「お互い知り合えて良かった」「ボランティアをして視野が広がった」「人間は皆同じ」との言葉が印象深かった。
そして、8テーブルに分かれてのグループワーク後に、受講者は気になる団体のブースを訪問。目黒ユネスコブースには、日本語教室に関してやユネスコ活動に興味を持った方が訪れてくれた。　　広報　太田優枝

交流サロン　令和7年 「武蔵川部屋見学会に行こう」

10 月 8 日に「武蔵川部屋見学会に行こう」が FM10 名（含む子供 2 名）、スタッフ５名の参加を得て行われました。早朝に集合し、武蔵川部屋（親方：第 67 代横綱武蔵丸関）へ向かいました。部屋の稽古場に入ると、稽古は始まっており、気合が入った掛け声が部屋に鳴り響いていました。四股、すり足、ぶつかり稽古、勝ち抜き稽古と休む間もなく、稽古は続けられました。稽古は目の前で行われ、力士同士が容赦なくぶつかり合う音や激しい息遣いが聞こえ、圧倒されました。そんな中、武蔵川親方からは容赦のない言葉が発せられていましたが、気を抜くと怪我するとの言葉に力士への優しさを感じました。また、稽古の合間の土俵の掃除は丁寧で、力士の相撲への想いを感じました。稽古後、参加者全員で力士が作ったちゃんこをいただきながら、穏やかな表情の武蔵川親方や力士との会話も進み、楽しい、掛け替えのない時間を過ごすことが出来ました。　　日本語教室スタッフ　毛利　知明

注:FM（フレンドシップメンバー）目黒ユネスコ外国人会員

交流サロン　相撲，音がすごく大きい！

いちばん強く心に残ったのは、力士たちがぶつかるその一瞬です。ドン！という大きな音がして、本当にびっくりしました。人と人がぶつかるだけで、あんなに大きなエネルギーが生まれるとは思ってもいませんでした。

師匠は静かに横に座っていて、ときどき短くコメントをしていました。意味は分かりませんでしたが、とても厳しい感じが伝わってきました。あとで知ったのですが、その方は武蔵川光偉さんで、第 67 代横綱だそうです。すばらしい人で、たしかに他の人よりも体が一回り大きかったです。

私は一番強い力士とふざけて少し勝負してみました。彼の手はとても広くて分厚く、まるで自分がぬいぐるみになったような気がしました。

おもしろいことに、武蔵川さんはアメリカ出身でした。ちゃんこ鍋を食べるときにいっしょに話したときは、まるでアメリカ人のようにユーモアがあって明るく、とてもリラックスした雰囲気でした。稽古のときとはまったく違っていました。

それから、ひとつおもしろいことを知りました。力士たちが腰に巻いているまわしは、洗ってはいけないそうです。洗うと運が逃げてしまうからで、2～3か月したら新しいものに替えるだけだそうです。

相撲は日本の伝統文化から生まれたけれど、今では現代のスポーツとして進化していることがよく分かりました。

今度は本物の相撲の試合を見に行って、勇気ある力士たちを応援したいと思います。

（朝コース D クラス） Ding Yushi（中国）

先日、目黒ユネスコで、武蔵川部屋へ行きました。武蔵川さんは 67 代目の横綱で武蔵川部屋の親方です。武蔵川さんはハワイからですが、日本語がひじょうに上手です。

力士たちはスパークリングの前にいろいろな練習（ランジ、カーフレイズ、メディシンボール投げなど）をしました。そのあとで、土俵をはいて、水をやって、塩まきをしました。力士たちがぶつかりあったとき、ひじょうに大きな音がでました。手や足には医療用テープがたくさんまかれていていました。相撲はからだにひじょうに大変です。力士は試合が終わったとき、親方にむかって礼をしました。そして、親方は力士に助言をあたえました。

練習がおわったとき、力士たちはストレッチをしてもう一度土俵をはきました。

練習中、何人かの力士が台所で料理を作っていました。外で力士たちはからだを洗って、着物にきがえました。力士たちはわたしたちに食事のサービスをして、質問に答えてくれました。武蔵川さんと力士たちはやさしくて親切でした。　**（朝コース D クラス）**

Phyllis Aureen Macatangay（アメリカ）

日本語教室紹介

国際交流を通して世界平和につなげたい、という理念に基づく目黒ユネスコ日本語教室。その学習風景をほんのひとコマではあるが、ここに紹介する。まずは、クラス担当ボランティアからひとりずつ名前を呼ばれての挨拶からスタート、学習者の表情もなごんでいくのが見て取れた。テキストによる学習に加えて、日本の慣習である「お盆」や「盆踊り」の紹介は、クラス担当ボランティアの経験も交えた説明で興味深く、また、「七夕」の童謡をみなで歌ったりなど、その授業内容は単なる語学教室には収まらないようであり、楽しげな学習風景が印象的であった。

広報　鈴木やよい

▲目黒ユネスコ協会　日本語教育講座(冬期)

朝コース:2026 年 1 月 13 日～3 月 19 日
(毎週火曜日・木曜日/全 20 回)
土曜コース:2026 年 1 月 17 日～3 月 21 日
(毎週土曜日 2 月 21 日を除く/全 9 回)
両コースとも午前 10 時～11 時 45 分
会場:緑が丘文化会館(目黒区緑ヶ丘 2-14-23)
★駐車場は利用できません。
対象:初級日本語を習いたい 16 歳以上の
日本語を母語としない人
定員:各 8 名　先着順
参加費:朝コース 6000 円
土曜コース 2700 円　テキスト代別途
申込方法:目黒ユネスコHP内「日本語教室」に掲載されている申込フォームを使い 12 月 2 日以降に申し込んで下さい。
問合:e-mail : meguro@unesco.or.jp
主催:NPO法人目黒ユネスコ協会
共催:目黒区教育委員会

11 月以降の予定

■11/9(日)　第5回理事会
■11/12(水)　発送連絡会
★11/14(金)　国際交流バスツアー
★11/15(土)　サイエンス教室
▲11/19(水)～24(月)　目黒ユネスコ美術展
★11/23(日)　青少年フエスタ
★11/29(土)　サイエンス教室
★11/30(日)　文化講座①書道
■12/10(水)　事務局大掃除
★12/26(金)　文化講座②音楽講座
■1/24(土)13:30～　新年会
目黒区レストラン・参加費千円

■自主語学教室6講座(仏・英・独・伊 2・中)
■事務局:月曜～金曜:13:00～16:00
※冬休み:12/15～2026/1/8

最新情報は HP からどうぞ

■目黒ユネスコ協会主催
●目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業
▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業
★目黒教育委員会からの受託事業

▲目黒ユネスコ美術展　&　★青少年フエスタ

日時:11月19日(水)～24日(月)
会場:目黒区美術館区民ギャラリー
「アートで平和に貢献」を命題に今年も開催します。
★青少年フエスタ同時開催
日時:11月23日・同会場

★ユネスコ文化講座①②③

★文化講座①
「書道のユネスコ無形文化遺産登録を目指して」
日時:11/30(日)13:30～16:00　緑が丘文化会館
講師:石川青邱氏　先着50名　区報 11/1
★文化講座②「おはなしとピアノで学ぶ音楽講座」
日時:12月26日(金)14:00～16:00
会場:中目黒 GT プラザホール
講師:吉兼加奈子氏　先着80人　区報 12/1
★文化講座③
「平山郁夫―仏教伝来と旅の軌跡」
日時:2026年1月25日(日)14:00～15:30
会場:中目黒 GT プラザホール
講師:大塚裕一氏　先着80名　区報 12/15
申込方法(①②③共通):
当協会 HP 申込フォーム、または FAX

■新入会員　どうぞよろしく　(敬称略)
◇ 朱 玉 峰

◇会員募集中◇　趣旨に賛同される方の入会を歓迎いたします。 問合せ:事務局(宮城)迄。

編集後記　寒さが深まり、温かいお鍋の恋しい季節がやってきた。「和食―日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録されてから十年余り。和食は、味や見た目の美しさだけでなく、自然を敬い、旬の食材を味わい、食を通じて人と人がつながる精神が根底にある。相撲部屋の若い力士たちは、直径 1 メートル(ちょっと大袈裟)はあろうかという大きな鍋を囲んで、楽しい食事のひとときを大きな力に変えていた。秋といえば、食欲の秋とともに、芸術の秋でもある。目黒ユネスコでは、これから年末にかけて美術展、サイエンス教室、文化講座などの催しが目白押しだ。クリスマスの翌日は、目黒ユネスコの初の試みとして企画した音楽講座を予定している。講師は、目黒区出身のオーストリアで学んだピアニスト。一年の最後を締めくくるのに保護者と子供がともに学べる音楽講座はいかがだろうか。　白岩葉子

発行人：NPO 法人目黒ユネスコ協会　齊藤眞澄　編集：広報委員会　〒153-0053 東京都目黒区五本木 2-24-3
TEL. 03-5725-6150　FAX. 03-5725-6160　e-mail:meguro@unesco.or.jp　http://www.unesco.or.jp/meguro/
会費等振込先：NPO 法人目黒ユネスコ協会 郵便振替：00190-8-187774　銀行振込：みずほ銀行祐天寺支店(普通)1004948